

## 『肝硬変とこむら返り』

肝臓川柳

『肝硬変 タウ(リン)・カル(ニチ)ン不足で こまったなあ』



こまった……こむら返り…こむらかえった…こむら返り(w強引w)

肝硬変の患者さんは、病気が進むとともに様々な症状が出現します  
特に筋肉の症状、中でもこむら返りを訴える方が多いです

= こむら返って?? =

漢字では ⇒⇒⇒ 『腓』。腓腹筋=ふくらはぎ

よって・・・こむら返りとはふくらはぎ返りのことであ～る!

= な!なんと! =

今回、機会があつて、中等度の肝硬変の方で調査したところ、  
80%以上の方がこむら返りをよく起こすと訴えていました

= 原因は?? =

こむら返りの原因は、電解質異常、脱水、耐糖能異常など色々言われていますが、  
アミノ酸代謝異常は有力な原因候補の一つです

= 詳しくっ!! =

肝硬変患者さんでは、肝臓が障害されるとさまざまなアミノ酸異常が出現し、  
有名なものでは、分岐アミノ酸低下、芳香族アミノ酸上昇による肝性脳症発症がありますが、  
必須アミノ酸の一つである”メチオニン”が著明に高くなります

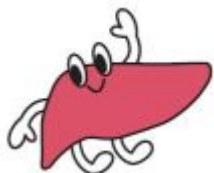
≫≫これは肝硬変が進むとメチオニンが利用されにくくなるための様です

= メチオニン? =

メチオニンからは、タウリンやカルニチンが生成されるのですが、  
タウリン、カルニチンとも筋肉維持に非常に大切であり  
これらが不足すると筋痙攣を起こしやすくなります

= 結局は…? =

従って、肝硬変→メチオニン利用障害→タウリン、カルニチン減少→筋痙攣(こむら返り)となるのではと考えています



これだけ覚えておけば損はない!

今回のポイント

肝硬変患者においてはこむら返りの訴えが多い。その原因の一つにアミノ酸異常が考えられます。  
肝硬変→メチオニン利用障害→タウリン、カルニチン減少→筋痙攣(こむら返り)  
となるのではと考えられています

( 文 : 福井県肝疾患診療連携拠点病院協議会 野ッ俣 和夫 )